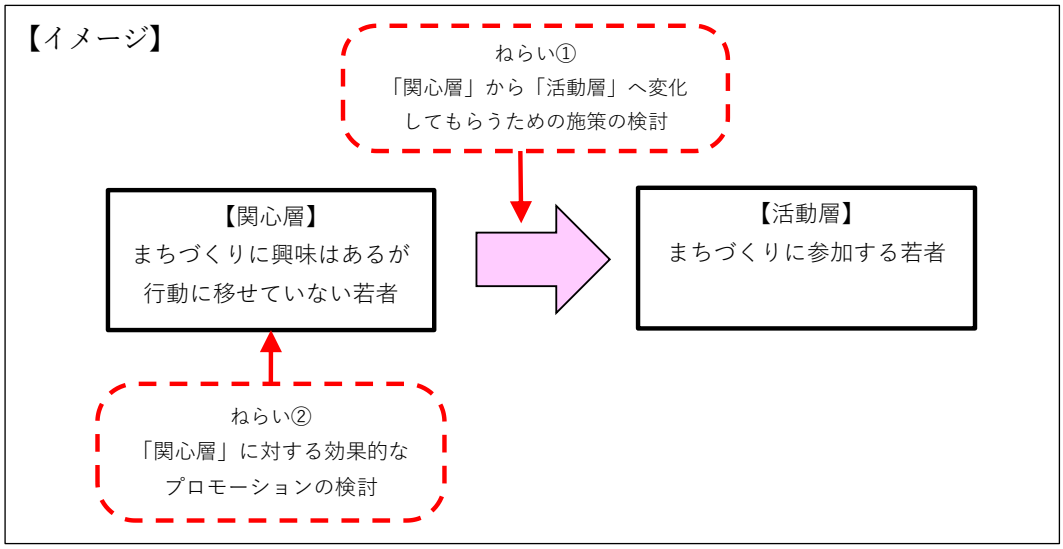
資料2

若者のまちづくりへの参加等に関する実態把握調査について

１．概要

本市の「学都」としてのポテンシャルも生かしつつ、社会人も含めた多くの若者に、まちづくりの担い手として力を発揮してもらえるよう、若者の意識や現状を把握するためのアンケート等を実施し、若者のまちづくりへの参加等をさらに推し進めるための新たな事業展開を検討する。

なお、調査の実施にあたっては、まちづくりに興味関心があるものの活動にまでは至っていない若者に対するアプローチについて特に重点を置き、活動する若者の裾野を広げるような施策の検討につなげるものとする。



２．実施内容

（１）アンケートの実施

活動実績の有無や動機など、まちづくりに取り組むことへの若者の意識や現状、情報収集方法を調査し、新たな事業展開の検討や効果的な情報発信方法のヒントとするため、アンケート調査を実施する。

①調査対象者

18 歳から 39 歳の仙台市民　3,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）

②依頼方法

対象者あてに依頼文を郵送

③回答方法

みやぎ電子申請サービスによる WEB 回答

※依頼文に QR コードを表示

※WEB での回答困難な方には、別途郵送対応を予定（依頼文にて案内）

④調査項目

・属性（年齢、職業）

・まちづくり活動への興味・関心の有無

・まちづくり活動の経験の有無

・まちづくり活動の経験者に対し、まちづくり活動をしたきっかけ

・まちづくり活動に参加することへの阻害要因

・まちづくり活動をする若者が増えるために必要だと思うこと

・仙台市役所の事業（イベントなど）を知る手段　　など

※より多くの方にご協力いただけるよう、短時間での回答を可能とするため、アンケート項目数を 10～15 問程度に絞って実施する。

（２）ワークショップの開催

アンケートの単純集計結果から特に深掘りしたい内容について、若者の意見を直接聴く機会としてワークショップを開催し、今後取り組んでいく事業をより効果的に展開していくためのヒントとする。

①対象者

18 歳から 39 歳で主に仙台市内でまちづくり活動に取り組んでいる方、または、まちづくり活動に興味・関心のある方　30 人程度

②開催内容

アンケートの単純集計結果から更に深堀したい内容を抽出し、ワークショップのテーマとする。５～６人程度のグループをつくり、参加者同士で自由な意見交換・アイデアを話し合ってもらう。

３．スケジュール（予定）

日程	内容
７月６日	第２回協働まちづくり推進委員会 （調査の実施について）
８月	アンケート実施
９月末まで	単純集計結果取りまとめ
10 月中旬	第３回協働まちづくり推進委員会 （単純集計の内容報告）
11 月～12 月	ワークショップ開催
２月上旬	第４回協働まちづくり推進委員会 （調査結果、新年度事業展開の報告）